

日赤ニュース

No. 41
2011年

発行日：平成23年1月
発行責任者：河井繁
編集・発行：山田赤十字病院 広報委員会
伊勢市御園町高向810番地
☎ 0596-28-2171(代表)
<http://www.yamada.jrc.or.jp>

理念

人道に基づき赤十字病院として
質の高い医療を提供します

基本方針

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救援や国際救援に貢献します
8. 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します



平成23年 年頭のごあいさつ

院長 村林紘二

「伊勢志摩地域病院」を目指して

伊勢志摩地域病院の形成と 切れ目のない医療

平成23年の年頭に当たり謹んでご挨拶申し上げます。さて、当院は1904年の開院以来、地域の診療所としての機能を保ちながら、入院医療も併せ行ういわゆる「病院完結型医療」機関として発展してきました。しかしながら、急速に高度化する医療を提供し、また限りある医療資源を有効に活用していくには、これまでのように、病院完結型医療を続けていては、高度な医療サービスを提供することが出来なくなってしまった。

そこで、平成17年から地域完結型医療への転換を図ることと致しました。地域住民の皆様の御協力はもとより、地域の医療機関との緊密な連携が得られたことから順調に進み、当院は二次及び三次救急と急性期入院医療を中心とした診療を担うことが定着しました。即ち地域の医療機関が、役割分担をしてそれぞれの診療機能を發揮し診療に当るというものです。この形態を更に推し進めれば、地域全体が一つの病院、いわば「伊勢志摩地域病院」を形作ることとなり、地域の医療機関が一体となって、切れ目の無い医療サービスを提供出来ることとなります。既に慢性期の入院、リハビリ、在宅支援、通院治療などは、個々の「かかりつけ医」をはじめ他の医療機関にお願いしており、当院の平均在院日数の短縮に御協力頂いています。その結果、当院がお引き受け出来る

新入院患者数は、以前に比し30%程増加しました。これからも皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

今後の展望

現在、医療ソーシャルワーカーの交流が数病院との間で始まっていますが、将来は更に広い分野での人材交流も行っていきたいと考えています。こうすることで貴重な医療資源の共有化をはかり、無駄を省いた医療を提供できると存じます。これからも全職員一丸となって、地域医療を支えて参りますので皆様の御理解・御協力をお願い申し上げます。

ハイチ大地震被災者支援事業（コレラ救援）に 東看護係長を派遣

昨年1月に大地震により被災したハイチでは10月末にコレラ患者が発生し、感染は全土に拡大、感染者は9万人以上、死者は2120人を超えていました。（政府発表12月4日現在）

日本赤十字社は国際赤十字の要請を受け、医療チームを派遣することになり、当院からも東看護係長が派遣されました。コレラは適切な治療がされれば死亡率の低い病気で、脱水症状を抑える治療と知識の普及が求められています。現地では首都ポルトープランス内の刑務所の患者治療やコレラ治療センターの立ち上げに従事し、12月19日約1か月間の任務を終えて無事帰国しました。



平成24年1月新病院開院

【施設概要】

敷地面積：53,954m²
診療科目：28科(予定)
病床数：655床
構造・規模：鉄筋コンクリート造地上5階
(免震構造・一部耐震構造)
延床面積：53,754m²
建設工期：平成21年10月～平成23年8月(予定)



平素は赤十字事業の推進にあたり、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当院は、平成23年度内の開院を目指して移転地(伊勢市船江1丁目 旧東洋紡績伊勢工場跡地)に新病院を建設中であります。

建設にあたりましては、地域医療支援病院として、質の高い医療を提供するための施設整備の充実に努めるとともに、今後益々多様化する医療ニーズに対応した病院機能の一層の充実強化を図ってまいりたいと考えております。併せて、地域災害拠点病院としての使命はもとより、日本赤十字社に課せられた「災害救護」の任を果たすべく、万全の体制を整えてまいる所存でございます。

つきましては、新病院建設に伴う寄付金を募集しています。建設資金のためのご寄付について、特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

寄付金募集要項

- (1) 募集目的: 新病院の建設のための資金
(2) 募集時期: 平成22年4月1日から平成24年3月31日まで
【お問い合わせ先】: 山田赤十字病院 事務部 企画課・経理課
電話: 0596-28-2171(代表)

当院では
平成22年10月1日より、
敷地内禁煙を実施しています。

敷地内禁煙

当院では、ご自身の健康管理や周りの方々の健康に配慮して、
敷地内禁煙を実施しています。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



薬草紹介 ウコン(ショウガ科ウコン属)

＜採集方法＞晩秋に根茎を採取して、蒸したのち天日で乾燥させます。味はやや苦く刺激性で特異の香氣があり、なめると唾液が黄色に染まります。

＜使い方＞1日量として5～10gを水0.4リットルで煎じて、約2分の1量まで煮詰め、1日3回食間に服用します。

粉末は水で練って痔や切り傷、はれものに塗布します。

＜効き目＞ウコンの主成分は黄色素クルクミン、精油です。胆汁分泌促進作用があり、肝炎、胆道炎、胆石症に、また芳香性健胃薬として、食欲増進、胃炎等に用います。その他、止血、通経、月経不順、吐血、鼻血、血尿、食品の着色にも用います。



伊勢カレーラーメン

お正月が過ぎ、寒さも本格的になってきました。定番の「伊勢うどん」にひと工夫、心も体もあったまる超簡単レシピをご紹介します。

〔材料・一人分〕

伊勢うどん 1玉
伊勢うどんのたれ 20ml程度
カレー(量は好みで)
青ネギ 適量

〔作り方〕

温めた伊勢うどんにたれをかけ、その上に斜め切りをした青ネギを入れて温めたカレーをかけます。お好みで一味唐辛子をかけてお召し上がりください。



新しく2分野の認定看護師が誕生しました。

苦痛を緩和し、
「その人らしさ」を取り戻せるように

がん性疼痛看護認定看護師 福田豊洋



2010年7月にがん性疼痛看護認定看護師の資格を取得しました。

突然ですが、「がん性疼痛」と聞いて何を想像しますか。多くの方はがんによりお腹が痛い、足が痛いなど身体的な痛みを想像されることだと思います。しか

し私たちがん性疼痛看護認定看護師は身体的な痛みはもちろんのこと、全身倦怠感やお腹の張り、電気が走る様な痛み、不眠、イライラ、日常生活への影響など、がんに罹患したことにより生じる苦痛全てを「がん性疼痛」として捉えています。また、がんに罹患した患者さんだけでなく、その御家族の方々が抱える不安や悩みなどの苦痛も対象として捉えています。

がんに罹患したことによる患者さんや御家族の方々の苦痛を少しでも軽減できるよう他職種と連携を取り、患者さんや御家族の方々と協力しながら、その先にある「その人らしさ」を取り戻せるよう頑張っていきたいと思います。

「こんなこと聞いていいかな」、「こんな時はどうしたらいいのかな」と一人で悩まず、まずはお気軽に話を聞かせてください。

糖尿病とうまく付き合う方法を
一緒に考えましょう!

糖尿病看護認定看護師 山村真紀



糖尿病は生活習慣病です。食事や運動など日常生活そのものが治療になり、現代社会の多様化するライフスタイルの中での自己管理が重要となります。私は糖尿病看護認定看護師として、患者さんが生活の中でこのような治療を自己管理し、血糖をコントロールできるようにお手伝いさせていただきたいと思っています。また、患者さんの中には、分かっているけどできない自分に対して悩み、苦しい気持ちを抱えている方もいらっしゃると思います。糖尿病を持ちながらも充実した生活を送っていただけるよう、その方にとって効果的で続けられる方法は何かと一緒に考えていくことを思っています。その他、フットケア外来の担当もしています。糖尿病に関してご心配・不安などがあればご相談ください。



各教室ご案内（日時については変更する場合がありますのでご確認下さい）

肝臓病教室 【日時・テーマ】

- 1月29日(土) 13:30～16:00
「C型肝炎の治療」
- 3月29日(火) 13:30～16:00
「慢性肝炎(B型・自己免疫)の診断と治療」
- 5月17日(火) 13:30～16:00
「肝臓病の検査と診断」
- 7月12日(火) 13:30～16:00
「肝臓病の日常生活食事」
- 9月10日(土) 10:00～14:00
「C型慢性肝炎の診断と治療(肝臓病食について)」
*食事見本がつきますので、ご予約が必要です。
*参加費 500円
- 11月15日(火) 13:30～16:00
「肝硬変の合併症と治療」

【場 所】山田赤十字病院 講堂

● 申込・問い合わせ：内科受付(内線)2250

糖尿病教室

- 1月14日(金)・2月4日(金)・3月11日(金)
5月13日(金)・6月10日(金)・7月8日(金)
8月12日(金)・9月16日(金)・10月21日(金)
11月4日(金)・12月9日(金)

【時 間】9:00～13:00

【場 所】山田赤十字病院 講堂

【参加費】500円

● 申込・問い合わせ：内科受付(内線)2250

